

文部科学省 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業

「次世代ベンチトップ型シーケンサーによる

ゲノム・エピゲノム解析に基づく統合的健康生命研究」

ゲノム・エピゲノム研究討論会

日時：平成28年3月12日（土）13:00～17:20

場所：関西大学 学術フロンティア・コア 3階会議室

【プログラム】

13:00～13:05 開会挨拶（化学生命工学部 教授 老川典夫）

13:05～15:05 セッション1：プロジェクト研究成果発表（各発表20分）

- 比較ゲノム解析から見出された乳酸桿菌 *Lactobacillus sakei* 由来新規アミノ酸ラセマーゼの機能解析
老川典夫*1、●加藤志郎*2
(*1 関西大学 化学生命工学部 教授, *2 関西大学 先端科学技術推進機構 ポスト・ドクトラル・フェロー)
- シロイヌナズナ由来 selenocysteine *Se*-methyltransferase ホモログの *in vivo* 及び *in vitro* 機能解析に向けた異種発現系の構築
●山中一也*3、老川典夫*4
(*3 関西大学 化学生命工学部 准教授, *4 関西大学 化学生命工学部 教授)
- *Sphingomonas bisphenolicum* A01株の環境汚染物質分解能の向上と安定化
●松村吉信*5、高未麗*6
(*5 関西大学 化学生命工学部 教授, *6 関西大学 理工学研究科)
- 神経突起伸長に関わるエピジェネティックな遺伝子発現制御機構
山添亮輔*7、青山大輝*8、松浦玖実*8、谷尾啓介*8、●下家浩二*9
(*7 関西大学 先端科学技術推進機構, *8 関西大学 理工学研究科, *9 関西大学 化学生命工学部 教授)
- 曝露がシロイヌナズナの遺伝子発現量に及ぼす影響 ●細見亮太*10、廣瀬侑太郎*11、吉田宗弘*12
(*10 関西大学 化学生命工学部 助教, *11 関西大学 理工学研究科, *12 関西大学 化学生命工学部 教授)
- セレン曝露が植物スプラウトに与える影響と健康機能性の評価 ●吉田宗弘*13、細見亮太*14
(*13 関西大学 化学生命工学部 教授, *14 関西大学 化学生命工学部 助教)

15:05～15:15 休憩

15:15～17:15 セッション2：特別講演（各講演30分）

- 構造基盤研究 - アスパラギン酸ラセマーゼの温度環境適応
●畑安雄*15、藤井知実*16、山内貴恵*16、老川典夫*17
(*15 京都大学 化学研究所 教授, *16 京都大学 化学研究所, *17 関西大学 化学生命工学部 教授)
- 細菌のゲノム重複を介した環境適応
●稲岡隆史*18、本山志織*19、ワナシリ・ワナラット*19、草房克江*19
(*18 農業・食品産業技術総合研究機構 食品総合研究所 主任研究員, *19 農業・食品産業技術総合研究機構 食品総合研究所)
- 植物を研究対象とした次世代シーケンサーの利用 ●竹村圭弘*20
(*20 鳥取大学 農学部 プロジェクト研究員)
- ヘテロクロマチン形成の分子機構
三島優一*21、木村博信*21、高橋紗央里*21、●末武勲*22
(*21 大阪大学 蛋白質研究所, *22 大阪大学 蛋白質研究所 准教授)

17:15～17:20 閉会挨拶（化学生命工学部 教授 老川典夫）

【お申し込み・参加費】 不要

【お問い合わせ先】

〒564-8680 吹田市山手町3-3-35

関西大学 先端科学技術推進機構（TEL: 06-6368-1178 E-mail: sentan@jm.kansai-u.ac.jp）

【会場案内図】

関西大学千里山キャンパス



【 お問合せ先 】

関西大学 先端科学技術推進機構

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35

TEL : 06-6368-1178

E-mail: sentan@jm.kansai-u.ac.jp